

# 「池高人権の日」

令和8年4月

新年度がスタートし、約一ヶ月が経過しました。新しいクラス、新しい学校は、みなさん一人ひとりが、安心して生活できる場所になっていますか。

今年度最初の人権の日では、ある詩を取り上げ、「言葉」について考えてもらいたいと思います。

## 『一秒の言葉』

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のトキメキを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの言葉に、人の優しさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの言葉で、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」

この一秒ほどの言葉が、一生の別れになることがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命 一秒

詩 小泉吉宏

みなさんが普段使っている言葉。

たった一秒の言葉ですが、そのたった一秒の言葉が、時に人の心や人生に喜びを与えたり、その人の人生を大きく良い方へ導くきっかけになったりする場合があります。逆に、何気なく放った一秒の言葉が、気づかぬうちに人の心を傷つけ、誰かの人生をマイナスの方へ導くきっかけになることもあります。

なぜならば、言葉には大きな「力」があるからです。それがたった一秒の言葉でも。たった数文字の言葉でも…。

言葉をどんな想いを込めて発するのかは私たち自身にかかっています。また、自分が放った言葉を聴いたり触れたりした人がどのように受け止めるかは、受け手自身にかかっています。

そして何より、自分自身から放たれた、頭の中で思考している言葉を、一番よく聴いているのも触れているのも自分自身であることを忘れてはいけません。その言葉に込められた想いを、一番感じているのは自分自身であることを肝に銘じ、それぞれが「一秒の言葉」を大切にしていきたいでしょう。

自分も他人も大切にできる池田高校を一人ひとりの心がけからつくっていきましょう！

「いつもありがとう」を合言葉に！我らが池高は「チームありがとう！」です。